

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '市子ども会育成連合会運営助成事業' and '青少年の健全育成'.

(1) 事務事業の概要. Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (市内単位子ども会...), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (補助金の支出事務...).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and performance indicators for 30, 01, 02, 03, 04 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移. Table showing financial breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel (正規職員従事人数).

事業費の内訳. Table comparing 01年度事業費実績 (千円) and 02年度事業費 予算 (千円) for '19 負担金補助及び交付金'.

事務事業名	子ども会育成連合会運営助成事業	事務事業No.	20303000648	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 子ども会の発展と次世代を担う青少年の健全育成を図るために実施。昭和30年代に始まったと思われる。 開始時とは明らかに少子化によって会員数が減少しており、負担の大きさから、事業の実施には欠くことのできない保護者の協力が得にくくなっている。また、他の青少年団体やスポーツ少年団など、子どもを対象とした事業・活動も行われており、子どもを対象とした事業はある意味飽和状態になっていると思われる。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ぼうさい宿泊体験を熱中症対策のため7月上旬に開催し、参加者の大幅な減少が予想されたが、内容の工夫により、参加者もある程度確保し、感想等も良いものを得た。親子で参加する桜っ子探検隊においても、フォトコンテストなど工夫があり、おおむね好評であった。心を育てる事業としての陶芸体験は応募が殺到し、急遽募集人数を増やして実施し、好評であった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 施策体系 青少年活動の充実につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内の児童生徒を対象としているため、公共関与は妥当であると考えられる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 事業部会制を取り入れ、ある程度改善は見られたが、団体主導の事業運営の実施による成果の向上が期待される。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在の役員の大半が児童生徒の保護者であるため、行政がある程度関与しなければ、会自体が衰退していってしまうと考えられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的な手段、事務事業名 青少年育成桜川市民会議運営助成事業 同じく児童生徒を対象とした団体との連携を促進することで、更なる成果の向上、経費の削減が期待される。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 団体主導による運営を促進することで、担当者の業務時間を削減できると考えられる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域の児童生徒を対象としているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業部会制を取り入れることで、役員会の回数を減らすとともに、保護者目線の意見が反映され、団体主導のよりよい事業運営ができてきた。また、市内高校生や各種団体との連携で、幅広い活動が展開できたことに加え、子どもたちの社会性の向上にもつながった。単位子ども会の活動については、お願いをするだけで、具体的な手立てが取れていない。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 区長会で単位子ども会の現状を伝え、合併や共同活動を進めるよう促したが、思うように進まなかった。そこで、今後、「単位子ども会応援事業」として、会員数が10名未満の子ども会が他の子ども会と共同活動する際に補助をし、その活動を活性化させることを考えている。補助金について指摘事項を検討し改善を行う。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ④																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	